

# 千葉県銚子(ちょうし)市高神東町(たかがみひがしまち)における祝言のあいさつ

佐藤 亮一

## ○はじめに

1. 対象地の地理的環境：銚子市は千葉県の北東の端に位置し、利根川の河口を挟んで茨城県に接している。高神東町は銚子市街地の東南、銚子駅から約2.5キロの位置にある。
2. 対象地の社会的経済的環境：伝統的な農業集落。歴史的事件も多々あり、住民の気位が高い。
3. 生業：大根、キャベツなど蔬菜類の産地。専業農家が多い。
4. 交通：銚子駅からバスが1日25往復ほど走っている。
5. 人口：93世帯。405人(1991年3月1日現在)。
6. 調査年月日：1991年3月8日。午後2時～4時。
7. 方言話者：山口吉次郎氏 1914(大正3)年3月生(76歳)  
加瀬 金治氏 1919(大正8)年3月生(71歳)  
加瀬 初子氏 1917(大正6)年2月生(74歳)  
なお、加瀬金治氏と初子氏は御夫妻である。
8. 調査場所：加瀬金治氏宅。
9. 調査者：佐藤亮一。ほかに、郷土史研究家の永沢謙吾氏が同席した(永沢氏も佐藤とともに、郷土史の観点から調査を行った)。なお、方言話者の紹介、その他調査全般にわたって永沢氏のお世話になった。
10. 調査方法：面接質問によった。調査内容はすべて録音し、現場で筆記した内容を後日録音を聴いて確かめた。なお、以下の記述で、回答者の名を< >内に示す。
12. 以下に記す風習およびあいさつ表現は、戦前(あるいは終戦直後)まで当地で行われていたものである。

## I. 結納授受のあいさつ

1. 仲人が新婦の家に結納を持参した時、座敷で、その家の主人(新婦の父親)に向かって、どのようなあいさつをしますか。

○コノタビワ イロイロ 下ーモ アリガトーゴザイマシタ。ワタシノ  
ヨーナ モノニ ヨイ ムスメサンオ イタダカセテクレテ 下ーモ  
アリガトーゴザイマス。ツキマシテワ ユイノーノ オシルシオ

モツテマイリマシタノデ ゴジュノー オンネガイイタシマス。

この度は、いろいろどうもありがとうございました。私のような者に  
良い娘さんをいただきさせてくれて、どうもありがとうございます。つ  
きましては結納のおしるしを持ってまいりましたので御受納お願い  
いたします。〈山口〉(高男→高男) (あらたまり) (高待遇)

2. その家の主人(新婦の父親)は、仲人に応えて、どのようなあいさつ  
をしますか。

○コアタビワ ○○(新婦の名)ノタヌニ ヒトカタナラヌ オセワニ  
ナリマシテ マコトニ アリガトゴザイマス。スエナガク ヨロシ  
ク オンネガイイタシマス。コンケノ オヤゴサンニ オツタエネガ  
イマス。この度は、○○のために、ひとかたならぬお世話になりまし  
て、誠にありがとうございます。末永くよろしくお願いいたします。  
婿家の親御さんにお伝え願います。〈山口〉(高男→高男) (あら  
たまり) (高待遇)

3. その時の新婦のあいさつがあれば記してください。

○なし。新婦は同席しない。

## II. 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁をもらうことが決まった家の人に道で出会って、近所の人たちはど  
のようなお祝いのあいさつをしますか。

○オメライデ ヨンダ ヨメサンガ デギタダッテネー。ヨガッタ  
ー。オメデトー。イズ シューゲンダヨ。キンジョトナリダガラ  
シューゲンニワヨ シューギ ツケッダカラブ。おまえの家で、今度  
嫁さんができたんだってねえ。良かったねえ。おめでとう。いつ結婚  
式だ。隣近所だから、結婚式には祝儀(祝儀や祝い唄)をつけるから  
ね。〈山口〉(高男→高男) (くつろぎ) (中待遇)

○オメライデ ヨメサマガ キマッタダッテネー。オメデトーヨ。イズ  
シューゲンダダー。おまえの家で嫁さんが決まったんだってねえ。お  
めでとう。いつ結婚式だ。〈加瀬金治〉(高男→高男) (くつろぎ)  
(中待遇)

○オメライデヨー ー ヨメサマガ キマッタダッテネ。ヨカッタネ。  
オメデトゴザイマス。おまえの家でねえ、良い嫁さんが決まったん  
だってねえ。良かったねえ。おめでとうございます。  
〈加瀬初子〉(高女→高女) (くつろぎ) (中待遇)

2. 嫁をもらう家の人、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○イヤー オレーノ ヤローニ ○○ (仲人の名) ノ セワデヨー キマッタダヨー。オメラニモ シンペー カゲダダゲットモ イアンベータッタヨ。シユーガンワ イズノ イッカダガラ ヒドズ ソン下ギニワ ミンナデ テツデー タノムヨ。 いやあ、おれの家の息子に○○の世話でねえ、(嫁が) 決まったんだよ。おまえたちにも心配かけたけれども、良いあんばいだったよ。結婚式は○月○日だから、ひとつ、その時には皆で手伝いを頼むよ。〈山口〉 (高男→高男) (くつろぎ) (中待遇)

○イー アンペーニ ○○ノ セワデヨ コンダ キマッタダヨ。ヨロシク ヒドズ タノミマスヨー。 良いあんばいに、○○の世話でねえ、今度(嫁が) 決まったんだよ。よろしくひとつ頼みますよ。〈加瀬金治〉 (高男→高男) (くつろぎ) (中待遇)

○ドーモ アリガトー。ヨガッタヨ。どうもありがとう。良かったよ。〈加瀬初子〉 (高女→高女) (くつろぎ) (中待遇)

### Ⅲ. 嫁に出すことが決まった家の人へのあいさつ

1. 嫁に出すことの決まった家の人に、近所の人たちはどのようなあいさつをしますか。

○オメライノ ムスメガ 下ゴソゴ (嫁ぎ先の家の名) エ ヨメニ キマッタダッテノー。オメデトーヨ。おまえの家の娘が、どこそこに、嫁に決まったんだってねえ。おめでとう。〈山口〉 (高男→高男) (くつろぎ) (中待遇)

○オダダデモッテ ムスメサン イードゴ キマッタダッテノー。オメデトーヨ。おたくで、娘さん、良いところに決まったんだってねえ。おめでとう。〈加瀬金治〉 (高男→高男) (くつろぎ) (中待遇)

○オメライデ イードゴ イダダッテノー。オメデトーヨ。おまえの家で良いところに(嫁に) 行くだってねえ。おめでとう。〈加瀬初子〉 (高女→高女) (くつろぎ) (中待遇)

2. 嫁に出す家の人、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○オメラニモヨー ムスメノ コドデワ シンペーニ アズガッタダケツドモ オカゲサマデ ダレソレ (仲人の名) ノ セワデ キマッタ

ダヨ一。 おまえらにもねえ、娘のことでは心配してもらったけれども、おかげさんで、謹その世話で決まったんだよ。

<山口> (高男→高男) (くつろぎ) (中待遇)

○イヤ アリガト一ヨ。 いや、ありがとう。 <加瀬金治> (高男→高男)  
(くつろぎ) (中待遇)

○ハイ 下一モ アリガト一ゴザイマス。 はい、どうもありがとうございます。  
<加瀬初子> (高女→高女) (くつろぎ) (高待遇)

#### IV. たんすつけ (仲人が馬方を連れて新婦の道具をもらいに行く)

##### 1. 新婦の家に入る時の仲人のあいさつ

○ホンジツワ 下一モ オメデト一ゴザイマス。 オヨメサンノ ニモズ  
オ モライニマイリマシタ。 本日はどうもおめでとうございませう。 お  
嫁さんの荷物をもらいにまいりました。 <山口> (仲人=高男→新婦  
の家人=年齢・性別不定) (あらたまり) (高待遇)

##### 2. 新婦の主人の馬方の若い衆へのあいさつ

○キヨ一ワ オイソガシ一トコロ 下一モ ゴクローサマデスヨ。 今日  
は、お忙しいところ、どうもご苦勞様ですね。 <山口> (高男→若男)  
(あらたまり) (中待遇)

○ (酒食を出して) ナニモ ネ一ケツドモヨ一 ハラフサギデ ヒトズ  
ヤツデ タダセ一ヨ。 何もないけれどね、腹の足しに、ひとつ食べて  
くださいよ。

<山口> (高男→若男) (あらたまり) (中待遇)

##### 3. 馬方の新婦の主人へのあいさつ

○イロイロ 下一モ ゴチソーサマデシタ。 いろいろどうもご馳走様で  
した。 <山口> (若男→高男) (あらたまり) (高待遇)

#### V. 結婚式のあいさつ

※結婚式 (にあたるもの) は「婿入れ (「嫁迎え」とも)」と「嫁入れ」  
の2回行う。前者は婿が嫁を迎えに行き、嫁の家で行う。この時、新郎  
の親は出席しない。後者は嫁を迎え入れる儀式で、婿の家で行う。この  
時、新婦の親は出席しない。

##### 1. 「婿入れ」または「嫁入れ」に出席した (親戚以外の) 人たちの新婦 または新郎の父親へのあいさつ

○コチラサンデワ 下一モ オメデト一ゴザイマス。 (祝儀を出して)

コレ サシヨーデスケドモ。こちらさんでは、どうもおめでとうござ  
います。これは些少ですけれども。〈山口〉(高男→高男) (あらた  
まり) (高待遇)

2. 上記に答えての新婦または新郎の父親のあいさつ

○ドーモ アリガトーゴザイマス。どうもありがとうございます。

〈山口〉(高男→高男) (あらたまり) (高待遇)

VI. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

1. 結婚式後、姑が新婦を連れて、近所の家にあいさつをして回る時、姑  
はどのようなあいさつをしますか。

○(嫁の名を書いた手拭または風呂敷を配りながら) ウチノ ヨメサン  
ダカラ ヨロシクオネガイシマス。うちの嫁さんだからよろしくお願  
いします。〈加瀬初子〉(高女→高男または高女) (あらたまり)  
(高待遇)

注：嫁の前では「ヨメサン」と「さん付け」にするのが普通。

2. そのあいさつに答えて、近所の人はどのようにあいさつをしますか。

○(品物をもらいながら) ドーモ アリガトーゴザイマス。〈山口〉  
(高男→高女) (あらたまり) (高待遇)

VII. 嫁を迎えた家の人へのお祝いのあいさつ

1. 10日ほどまえに、長男(29歳)に嫁をもらった60歳台の父親へ、結婚式  
に招かれた50歳台の女性が、昼下がりの路上で、どのようなお祝いの  
あいさつをしますか。

○コンニチワ。コナイダワ ドーモ ゴチソーサマニ ナリマシタ。タ  
イヘンダッタワ。ヨカッタネ。今日は、このあいだはどうもご馳走様  
になりました。大変だったねえ。良かったねえ。〈加瀬初子〉  
(高女→高男) (くつろぎ) (中待遇)

2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○ナーニ オヨビシテモ ナンノコトモ デキテクテヨ オソマツダッ  
タヨ。タケサンノ ゴシユージ ドーモ アリガトーゴザイマシタ。  
オメー イマカラ ナニヤッタヨ。なあに、招待しても何もできなく  
て、お祖末だったね。たくさんの御祝儀をどうもありがとうございます  
ました。おまえは今から何の仕事をするのかね。〈山口〉(高男→高女)  
(くつろぎ) (中待遇) 注：「オメー イマカラ ナニ ヤッタヨ」

は星のあいさつのきまり文句。別れ際に言うことが多い。

Ⅷ. 結婚式後の仲人へのあいさつ

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦（あるいは両親）がお礼に行った時、どのようなあいさつをしますか。

○コチイダワ イロイロ オセワニナリマシタ。イー ヨメサンデ ヨ  
カッタヨ。コレ ホンノ オシルシデスケド ウケトツテクダサイ。  
下ーモ アリガトゴザイマシタ。この間はいろいろお世話になりました。  
良い嫁さんで良かったよ。これはほんのおしるしですけど受け取  
ってください。どうもありがとうございました。（反物を一反持参す  
ることが多い）。<加瀬初子>（高女→高女）（あらたまり）（高待  
遇）

2. 仲人は、それに応えてどのようなあいさつをしますか。

○チンニモ デキナカッタケツドネ コンナニ シツカリ モラッテ  
ワリーノー。何もできなかつたけれどねえ、こんなに沢山もらってわ  
るいねえ。<加瀬初子>（高女→高女）（あらたまり）（高待遇）

Ⅸ. 嫁の初めての里帰りのあいさつ

1. 嫁がはじめて里帰りする時、嫁ぎ先の親に、どのようなあいさつをしますか。

○（里帰りは親から先に言い出す）ハナコエー アシタ ダイアンデ  
ヒガ イーカラ サトガエリ ヤツテクツベヤナー。花子や、明日は  
大安で日が良いから、里帰りをして来なさいよ。<山口>（高女→若  
女）（くつろぎ）（中待遇）

○ジャー オネガイシマス。じゃあ、お願いします。<山口>（若女→  
高女）（あらたまり）（高待遇）

注：当日は親が嫁を里まで送って行く。

（フェリス女学院大学）